

## 記入例 様式10 規程類に含める必須項目確認書

下記記入例を参考に様式10を作成してください。

「規程類に含める必須項目」で挙げている規程類の名称と、「根拠となる規程類、指針等」の名称は同一である必要はありません。

規程類に含める必須項目	(参考)JANPIAの規程類	根拠となる規程類、指針等	必須項目の該当箇所 ※条項等
<b>●社員総会・評議員会の運営に関する規程</b>			
(1)開催時期・頻度	評議員会規則 ・定款	定款	第18条
(2)招集権者		定款	第19条
(3)招集理由		定款	第19条
(4)招集手続		定款	第20条
(5)決議事項		定款	第17条
(6)決議（過半数か3分の2か）		定款	第22条
(7)特別の利害関係を有する場合の決議からの除外。 「評議員会・社員総会又は理事会の決議に当たっては、当該決議について特別の利害関係を有する評議員又は理事を除いた上で行う」を含む。		定款	第22条 2
(8)議事録の作成		定款	第25条
<b>●コンプライアンスに関する規程</b>			
(1) <u>コンプライアンス担当組織</u> (実施等担う部署が設置されていること)	コンプライアンス規程	法令順守に関する規程	第3条
(2) <u>コンプライアンス委員会(外部委員は必須)</u> 「外部の有識者等も参加するコンプライアンス施策の検討等を行う組織及びその下に実施等を担う部署が設置されている」を含んでいること			
(3) <u>コンプライアンス違反事案</u> 不正発生時には、原因究明、関係者に対する厳格な処分及び再発防止策を確実に実施し、その内容を公表する旨定められていること		法令順守に関する規程	第5条

公募システムには、根拠となる規程類、指針等をアップロードしてください。左記の例では、「定款」をアップロードします。詳細は「資金分配団体公募システムの手引き」をご覧ください。

例えば(2)コンプライアンス委員会(外部委員は必須)が既存の規程類や指針等に含まれていない場合は、空欄のままとし、「様式7提出書類に関する誓約書」を記入してください。改訂版は、様式10とあわせて資金提供契約締結前までに提出してください。